

## 八王子市役所職員の能力開発

自	主	研	究
グ	ル	-	プ
活	動	紹	介

本市では、職員の自己啓発支援の一環として、市政を取り巻く課題などについて調査研究するグループ活動を支援しています。

八王子市総務部職員課人材育成担当

地方分権が進展する中で自治体職員に求められる能力・役割は変化してきています。これまで自治体には、国が定めた施策を実行することが求められていましたが、現在は自治体自らが政策責任主体となって多様化する住民ニーズにこたえていくことが求められています。このため、あるべき職員像は、従来の公務員の枠にとらわれない柔軟な思考で、自ら課題を認識し、解決できる自立型の職員となっています。本市では、平成13年に人材育成基本方針を定め、『人事制度』、『職場づくり』、『研修制度』を一体として、こうした職員の育成に取り組んできています。

今回紹介する自主研究グループ活動への助成制度( )は、研修制度の要の一つである自己啓発への支援です。この制度には、制度を設けて以来延べ37グループ247名の職員が参加してきました。ここ数年は、新人職員のグループが自身の業務の枠を超え、市の現状や課題を幅広く学ぼうという勉強会を行っている傾向がみられます。また、自らの業務を深く調査研究することで、業務への精通やスキルアップを図ろうとする活動も行われています。

平成18年度は、これから紹介する6つのグループが活動を行いました。

グループ名	テーマ
遊歩まっぴ俱樂部	過去に無い視点からのマップ(アトラス)の作成・情報収集
基礎職務能力の向上を目指す会2006	自治体職員に求められる基礎職務能力の向上について
Nvalue on ざっくばらん	市の施策の現状把握と課題発見
ほのぼの	保育士のスキルアップ
ゼロヨン	市役所業務の現状把握・課題整理・対策の検討
介護保険制度研究会	介護保険制度について - 先進自治体に学ぶ -

### ( )自主研究グループ活動助成制度とは

市政の様々な課題について自主的に調査研究を行う3名以上の職員のグループ活動を支援し、自己啓発意欲の高揚や政策形成能力の向上を図ることなどを目的としています。助成の対象は、図書などの購入費や指導・助言者に対する謝礼などです。また、平成17年度からは、都市政策アドバイザーから活動内容に対する助言を受けられるようになっています。

### /// 人材育成担当の思い//////////

日々の業務の中で、疑問に感じたり、もっと深く学んでみたいと思ったりすることは誰にでもあるでしょう。こうしたことを疑問や興味に終わらせず、一歩踏み出して自ら学び、行動し、業務改善につなげること、また、そうした主体性をもった職員に育つことを、人材育成担当は応援しています。

---

---

# 遊歩まっぷ倶楽部

代表：八王子市産業振興部観光課 小林 隆宣

---

---

## 研究目的

私たちのテーマは、遊びながら楽しみながら読め・・・そして、持って歩けるマップ作りです。昨年の研究成果として、春に「南浅川遊歩まっぷ」を・・・そして、秋には「八王子城跡遊歩まっぷ」を発行することができました。そして、今春には、「千人同心遊歩まっぷ」の発行に向けてただいまその研究をしているところです。このような平面のまっぷを作成してゆき・・・その集大成として、八王子の魅力が満載された地図帳「八王子アトラス」を作成することを目標としております。

## 研究内容

平成18年には、東京純心女子大学で春版「南浅川遊歩まっぷ」を観光英語の授業の題材として取り上げてもらい、英訳をしていただきました。いずれ、それを改良して、成果物として発表したいと考えております。

八王子市も国際化の流れの中で、昨年はアジアの3都市と友好交流協定を結びました。また、国際チェロコンクールも開催され、今後ますます国際化の方向に進んでいくと思われれます。その流れの中で「遊歩まっぷ」も日本語のみならず英語はもちろんのこと、中国語や韓国語といった多言語版を視野に入れた活動も必要になってくると考えます。

始まりは地域の情報を地域にしっかりと発信していくものだった「遊歩まっぷ」が、時の流れの中で大きく成長をしていき、今、新たな方向性を持った魅力溢れるオンリーワンのまっぷに変容しようとしているところです。

さて、実際の「遊歩まっぷ」についてはその1、その2、その3で南浅川を含めた地域を作成しました(その3については予定)。次のエリア(その4)は中心市街地を真ん中にとらえて、片倉城跡から道の駅へと繋がるラインを考えております。新たな視点に基づく新たなマップ作成が研究内容となっております。

そして、元気なまち八王子を育てるために職員一人ひとりが熱い情熱を持って頑張っているところです。

## 代表者コメント

この遊歩まっぷ倶楽部が発足して早くも2年半経ちますが、会員一人ひとりの力によりこれまで2つのマップを作成し、いろいろな場所で多くの方に配布をしてきました。おかげさまで利用者からは、大変好評を得ております。

今後も、会員一人ひとりが今の情熱を持続し、さらに活動を発展させていきたいと考えております。

## メンバー紹介

所 属	名 前	所 属	名 前
観 光 課	小 林 隆 宣	産 業 政 策 課	鈴 木 泰
農 林 課	池 田 晃 子	観 光 課	須 藤 文 夫
市 民 課	伊 藤 秀 樹	産 業 政 策 課	西 澤 篤 司
観 光 課	小 林 望 美	観 光 課	平 本 博 美
産 業 政 策 課	小 山 美 紀 子	観 光 課	福 島 絵 美
子ども家庭支援センター	鮫 島 四 男	子 育 て 支 援 課	森 融
観 光 課	鈴 木 啓 二	元八王子地域事務所	山 崎 啓 右

# 基礎職務能力の向上を目指す会 2006

代表：八王子市産業振興部観光課 竹内 均

## 研究目的

当会の目的は、第1に地方自治の諸分野に関する知識を深めること、第2に政策形成や事務改善を行う上で不可欠な基礎職務能力（文献・資料を的確に要約する能力、所定の条件でわかりやすくプレゼンテーションする能力、文献・資料および他者の意見に対する的確にコメントする能力など）の向上を目的としています。

## 研究内容

自治・行政に関連した図書を精読の上レポートを事前に作成し、月1回程度、開催する勉強会にて発表、意見交換を行っています。勉強会当日は、座長の財団法人日本都市センターの中西規之研究員、及びアドバイザーの政策審議室の木内主幹から、参加者の発言に対する説明やコメントをいただくことで、より理解度を深めることができる仕組みとなっています。

また今年度から各テーマに関連する所管の課長等に、ゲストスピーカーとして参加していただき、八王子市の取組みについて話をいただいています。

このような活動を通じて、より広い知識と職務能力を取得するトレーニングの機会を得ることが可能となり、基礎職務能力の向上につながるものと考えています。

課題図書	開催日
「新説市民参加 その理論と実際」(公人社) 佐藤 徹, 高橋 秀行, 増原 直樹, 森 賢三	18年 8月 11日
「協働と市民活動の実務」(ぎょうせい) 山口 道昭	18年 9月 8日
「市民参加条例をつくろう」(公人社) 高橋 秀行 「八王子市の市民参加のしくみについて(提言)」 八王子市民参加のしくみづくり 検討委員会	18年 10月 6日
「自治を担う議会改革 住民と歩む協働型議会の実現」(イマジ出版) 江藤 俊昭	18年 11月 10日
「自治体の人事システム改革 ひと「自学」で育つ」(ぎょうせい) 稲継 裕昭	18年 12月 1日 19年 1月 12日
「政策形成と地域経営」(学陽書房) 阿部 孝夫	19年 3月 2日

## 代表者コメント

勉強会は、毎月テーマを変えて開催しているため、メンバー以外の方でも、興味のあるテーマ時に、1回だけ参加するということができます。

また毎回の勉強会終了後に、場所を変えて開催している懇親会は、年齢、所管も異なる職員同士が意見を交えることのできる、大変有意義な場となっています。

楽しい雰囲気の中で「基礎職務能力の向上」を目指し、そして「職員間の交流」を深めることができると考えています。

## メンバー紹介

所 属	名 前	所 属	名 前
観 光 課	竹 内 均	税 制 課	小 杉 浩 文
市 民 総 務 課	榊 怜 子	財 政 課	三 枝 浩 之
政 策 審 議 室	原 清	市 民 課	伊 藤 光 代
障 害 者 福 祉 課	清 水 雅 生	指 導 室	小 俣 英 一
政 策 審 議 室	元 木 博	産 業 政 策 課	立 川 寛 之
産 業 政 策 課	柳 沢 盛 仁	市 民 総 務 課	谷 靖 之
都 市 計 画 室	水 島 彩 子		

# N value on ざっくばらん

代表：八王子市市民部市民課 伊藤 光代

## 研究目的

2006年4月に採用された私たちは、仕事への期待に胸を膨らませて、八王子市役所での職務をスタートさせました。一方、「配属後は同期の交流が少なくなってしまうのではないか」、「自ら動かなければ他の職場の仕事や様子を知ることができないのではないか」という不安も少しありました。「仕事上の課題についてざっくばらんに語り合いたい」、「市政について興味をもち理解を深めたい」このような熱い思いをもって立ち上げたのが私たちのグループです。

## 研究内容

研究テーマ <市の施策の現状把握と課題発見>

各課の職務内容や問題意識を共有し、改善への手立てをとともに考える。

『八王子ゆめおりプラン』を教材に市の施策を学び、資料調査やフィールドワークを通して現状や課題を検証する。

研究テーマに対する上記の2つのアプローチを実現するため、月に2回の勉強会を開催。

は「ざっくばらん会」(第1火曜日) は「ゆめおりプラン会」(第3木曜日)の通称で親しまれています。なお、各回の議事録を共有し、研鑽に役立てています。

- \* 「ざっくばらん会」は、ディスカッション能力の向上を意識しています。仕事の交流がメインで、各種研修の情報など各自が興味のある話題を提供したり、地方自治に関連する雑誌の供覧を通して地方行政の流れを把握したりする工夫も取り入れました。「ざっくばらん」に話し合う中で、仕事の課題の解決にプラスして、自然とコミュニケーションの力がつくことを期待しています。
- \* 「ゆめおりプラン会」は、担当者を毎回決めて、全6編を1編ずつ研究してきました。各編の中のどの施策に焦点を絞るかは担当者に任されています。担当者にとっては情報収集や、プレゼンテーション、グループワークの設定、といった力を、また参加者にとってはプレゼンテーションの理解とグループワークに参加し企画立案する力を磨く場となっています。
- \* 8月30日(水)には職員課人材育成担当の齋藤主査によるコミュニケーションに関する特別セミナー、10月21日(土)には八王子の魅力を探る甲州街道のフィールドワークを行いました。そのほか、興味のある市企画の講座があれば情報共有するなど、勉強会以外の場にも積極的に参加するよう心がけています。3月7日(水)には、一年のまとめとしてグループワークの成果発表会を行いました。

## 代表者コメント

毎回のゆめおりプラン会では、力が入ったプレゼンテーションが見られます。メンバー一人ひとりの熱い思いが、N(network、next、new...) valueを生み出す会にとの願いがグループ名称の由来です。

## メンバー紹介

所 属	名 前	所 属	名 前
学 事 課	額 田 岳	市 民 課	伊藤光代
I T 推 進 室	馬 場 功 太	生 活 福 祉 課	岸中孝一
子 育 て 支 援 課	大 竹 南 生	職 員 課	小林雪乃
文 化 財 課	島 田 智 夏	地 域 医 療 推 進 課	濱中良哉
ごみ減量対策課	前 川 健 一	市 民 総 務 課	榊 怜 子
児 童 青 少 年 課	山 田 友 索	施 設 整 備 課	山田忠孝
戸 吹 清 掃 工 場	黒 田 佳 樹	市 民 課	瀬古浩実
保 健 セ ン タ ー	今 井 瑞 絵	高 齢 者 支 援 課	服部世里
職 員 課	木 田 正 博		

# ほ の ぼ の

代表：八王子市こども家庭部子ども家庭支援センター 遠藤 由実子

## 研究目的

子育て支援におけるスキルアップを図るとともに、八王子市の施策を理解し保育園の役割を考えるための意識づくりを目的にスタートしました。

## 研究内容

### 八王子市の子育て施策を理解する

子ども家庭支援センター館長の講義を聞き、自分たちにできることを考える。

### 保育士職場の業務内容を知る

男女共同参画課、子ども家庭支援センター、子育て支援課子ども支援担当の実情を知る。

### コーチング研修を通してコミュニケーションのとり方を学ぶ

人と上手につき合うためにコーチングスキルを学び、コミュニケーションに役立てる。

### 子育て支援を行う上での情報の集め方を学ぶ

現場での具体的な事例を通して、実際の支援を考える。

### 保育に活かせる教材づくりとパソコン技術

パネル絵本・バルーンアート・パソコン操作の方法を学ぶ。



## 代表者コメント

ほのぼのとホットな雰囲気の中で講義や実技を取り入れながら無理なくスキルアップを図っています。スタートしてから回を追うごとに、メンバーも増えてきています。来年度は自分達の持つスキルを活かし、保育内容の充実を図ると共に保育園での親支援方法を学んでいこうと考えています。

## メンバー紹介

所 属	名 前	所 属	名 前
恩方保育園	柏葉ヨシ江	長房中央保育園	青木りえ
恩方保育園	平賀早貴	長房中央保育園	伊東利恵
長房南保育園	内山京子	静教保育園	高橋美智子
長房南保育園	早川歌与子	静教保育園	高橋豊世
子育て支援課	峰尾真弓	中野保育園	前田嘉子
子育て支援課	福島光子	中野保育園	高崎節子
石川保育園	原田恵子	元八王子保育園	井上文子
石川保育園	鈴木美智	子ども家庭支援センター	畑中裕子
多賀保育園	井上美代子	子ども家庭支援センター	遠藤由実子
多賀保育園	藤森卓子		

# ゼロヨン

代表：八王子市健康福祉部健康福祉総務課 村石 雅紀

## 研究目的

2004年10月に採用された同期のメンバーを中心に、昨年まで「フレッシュ2004」という名前で、市役所全体の業務や行政を取り巻く現状についての知識を、メンバー同士お互いに深めてまいりました。

今年からは名前も新たに「ゼロヨン」と改め、同期に限らず活動内容に興味のある方に参加してもらい、内容的にも、今までの内容に加え、市の職員提案制度により、問題解決策を提案することを目的としながら活動を続けてきました。

## 研究内容

最初に参加メンバーから、それぞれが抱える課題などのテーマを募集し、グループ全体で検討するテーマを決定します。その上で、テーマについての基礎知識の習得、他市の先進事例の研究、必要に応じた庁外学習、職員提案を前提としたまとめ、という流れで活動しました。昨年までは、1回の研究会ごとに1テーマを扱っていましたが、今年度は1テーマを複数回に渡って扱うことで、より深くテーマを掘り下げることができました。

今年度は「町会・自治会加入率アップ対策」を主なテーマとして、調査や検討を行いました。

八王子市の町会・自治会を取り巻く現状を、加入率という観点から研究し、加入率が減ることによるデメリット、町会・自治会が担っている役割の重要性、町会・自治会と行政との関係、住民の意識の変化について学習しました。また、八王子まつりの際に、実際に町会活動に参加させていただき、町会活動の課題や町会と市との関係などについての生の声を聞かせてもらいました。その上で次の2点を、職員提案制度を利用し提案しました。

### 町会運営マニュアルの作成

町会・自治会の運営に際しては、役員の負担の大きさが大きな課題であり、それを軽減するための対策を行政側として検討する必要があると考えたことからの提案になります。福岡市などの先進市の事例などを参考にし、八王子市でも導入可能であると考えました。

### マンションや新興住宅地への町会活動の勧誘

町会・自治会への加入率が特に低いと言われる、マンションや新興住宅地への対策として、既存のマンションや新興住宅地や、もしくはそれらを新規に建設するディベロッパーに対して、町会加入のメリット（主に防災や防犯など）を説明した上で、町会設置に向けた協力を積極的にお願いするものです。

## 代表者コメント

今年度は新しいメンバーを迎え、より活発な議論が展開できました。来年度はさらに幅広いテーマについて扱っていききたいと思います。

初心を忘れず、何気ない疑問や発想を大切にしながら、よりよい行政職員を目指していきたいと思っております。

## メンバー紹介

所 属	名 前	所 属	名 前
こども政策課	土屋輝純	協働推進課	内田英里
指 導 室	平山かおり	産業政策課	柳沢盛仁
学園都市文化課	吉岡淳二	健康福祉総務課	村石雅紀
防 災 課	昆雅朗	障害者福祉課	丸山茂樹
交通事業課	清水祐也	環境保全課	戸嶋健一
都市計画室	水島彩子	元八王子保育園	水越裕香
元八王子保育園	下田亮介	石川保育園	イモディノ江伊子
長房中央保育園	鈴木麻理佳	高齢者支援課	服部世里
学 事 課	額田岳	市 民 課	伊藤光代
ごみ減量対策課	前川健一		

---

---

# 介護保険制度研究会

代表：八王子市健康福祉部介護サービス課 濱 大育

---

---

## 研究目的

2006年4月から新介護保険制度がスタートし新制度移行後半年以上が経過しました。今回の制度改正は、これまでの介護保険制度を大きく変えるものでした。本研究会は、新介護保険制度導入後の高齢者福祉において市町村が担うべき役割は何かを、先進的取り組みを行っている自治体への調査、八王子市で生じている問題の考察を通じて明らかにすることを目的としています。

## 研究内容

現時点では、研究テーマとして以下の2点を考えています。

### 地域包括支援センターの現状と問題点

新制度導入後設置され、地域ケアに対して重要な役割を担うことになった地域包括支援センターでは様々な問題が生じている。たとえば、問題の一つに地域包括支援センターが新予防給付に関するケアプラン作成に追われ、重要な地域支援事業において、十分な取り組みが難しい状態になっていること（いわゆる「ケアプランセンター化」）がある。このような問題への市町村の取り組みを考察することによって、市町村の地域ケアに対して果たすべき役割を明らかにしたい。

具体的には、都内では少ない地域包括支援センター直営方式をとる新宿区、八王子市と同様に民間委託方式をとる稲城市への訪問調査と、八王子市との比較を通して本テーマを考察する。

### 介護支援ボランティア控除についての考察

稲城市で導入予定となっている介護支援ボランティア控除制度についての研究である。介護支援ボランティア控除とは、高齢者のボランティア活動に対して一定額を介護保険料から控除する制度である。介護保険料賦課事務をそれ自体で完結させるのではなく、高齢者の地域活動奨励という政策的誘導手法として捉えていることが研究テーマとした大きな理由である。

本制度について介護保険料賦課・市民活動推進・職員の啓発といった観点から議論する。この議論を通じて、地域ケアシステムを構築する上で市町村の果たすべき役割を考察する。

## 代表者コメント

本研究会メンバーは全員介護保険業務に携わっています。日常業務にとどまらず、介護保険制度を広い視野から捉え直す機会を持ちたいということで、本研究会を立ち上げました。

本活動を通じて、日常業務にフィードバックしたいと考えています。

## メンバー紹介

所 属	名 前
介 護 サ ー ビ ス 課	濱 大 育
介 護 サ ー ビ ス 課	服 部 真 治
介 護 サ ー ビ ス 課	芝 田 崇